



災害に強い庁舎

- 地震に強い免震構造
新庁舎には地震や水害（荒川氾濫リスク）に備え、1階柱頭免震（2階床下に免震装置を設置）を採用しています。
- ペDESTリアンデッキの設置
水害時、浸水高さ4mに対応できるよう、デッキ高さは5m（2階床の高さ）に設定するとともに、2階も避難階に位置付けます。全方位から避難者を受け入れられるよう、ゆとりある幅（1.5m～2.0m）の階段を複数設置しています。
- 災害時の機能維持
ライフラインの遮断時においても、災害対応等の業務継続などを図るため、非常用発電機、UPS、井水利用、緊急汚水貯留槽を設置しています。さらに、災害対策本部が設置されている第一本庁舎への電力供給を可能とする「コージェネレーションシステム」を導入したほか、「防災の蔵」（2階床下空間を活用して防災備蓄を行う）、屋上ホバリングスペースを設置しています。



環境にやさしい庁舎

- 「植木のまち」を象徴する庁舎
ひな壇テラスや外構植栽により、植木のまち川口を象徴する庁舎としています。また、ひな壇テラスの緑は建物竣工時が完成ではなく、竣工後も、まちの発展とともに育ち続ける緑豊かな庁舎となるように整備していきます。
- 自然エネルギー利用
緑の蒸散効果による外気冷却、庇による日射カット、バルコニー面の照り返しを利用した間接光の導入、太陽光発電パネルの設置などを行っています。さらに新庁舎のシンボルとなるシビック・キューボラ（吹抜空間）においては、自然光を積極的に取り入れるとともに、吹抜の煙突効果を利用して自然通風・自然換気（中間期）を促進します。



だれもが利用しやすい庁舎

- ユニバーサルデザインの採用
市役所を初めて利用する方にもわかりやすいよう、主出入口の正面に総合案内を設置しています。また、EV、オストメイト対応のみんなのトイレ（多目的WC）、授乳室、託児室、点字ブロック、サインなどを適切に配置しています。
- 利便性の向上
今まで分散していた市役所の部署を集約し、市民の利用頻度が高い窓口部門を低階層に配置したほか、第一本庁舎、第二本庁舎及び立体駐車場を連絡通路で連結することでアクセスと安全性の向上を図っています。



働きやすい庁舎

- 整形大平面のオフィス
将来のレイアウト変更にも柔軟に対応できるよう、間仕切りのない執務室空間としています。
- ユニバーサルデスクの採用
執務室のデスクは、ユニバーサルデスク（大型の共用デスク）を採用することで、組織変更などの際でも職員のみが移動し、レイアウトの変更を行わずに対応が可能となるため、迅速かつコストを抑えた対応が可能となります。
- 不快な気流を生じさせない輻射空調の採用
執務室等の大空間については、上部アルミパンチング材を通じてじんわり吹き出す輻射空調を採用しています。



市庁舎案内図



本庁舎周辺拡大図



川口市役所 KAWAGUCHI CITY HALL

〒332-8601 川口市青木2-1-1 TEL 048-258-1110 (代表)
https://www.city.kawaguchi.lg.jp 令和7年7月第1版発行



川口市ホームページ

川口市役所 本庁舎 （第一本庁舎・第二本庁舎）

KAWAGUCHI CITY HALL MAIN BUILDING



ごあいさつ

川口市長 奥ノ木信夫



この度、市役所第二本庁舎がついに完成を迎え、これをもって本市が
推し進めて参りました3大プロジェクト（新庁舎建設事業、赤山歴史自
然公園整備事業、川口市立高等学校建設事業）が完結いたしました。こ
の日を迎えることができましたのは、市民の皆様のご理解とご協力の賜
物と、心からの感謝と御礼を申し上げます。次期です。

旧庁舎は、建設から60年以上が経過していたため、施設の老朽化や
耐震性の不足に加え、バリアフリー対応の遅れや分散している各部署の
集約化、さらには大規模災害に対する備えなど、様々な課題を抱えてお
りました。

そのため、新しい本庁舎は「災害に強い 環境にやさしい だれもが使
いやすい 働きやすい庁舎」をコンセプトに、地震に強い免震構造の採
用をはじめ、水害時やライフライン遮断時においても業務継続が可能と
なる非常用発電設備を設置したほか、植木のまちである本市を象徴する
ように多くの植栽をひな壇テラスに配するとともに、太陽光パネルによ
る発電を行うなど自然を生かした庁舎としております。また、多機能ト

イレの設置やユニバーサルデザインを採用するなど様々な機能を取り入
れ、訪れたかたのわかりやすさを考慮し、どなたにも利用しやすい庁舎
として整備しております。

さらに、市内に分散していた各部署を第一本庁舎及び第二本庁舎に集
約するとともに、市民の皆様の利用頻度が高い窓口部署を低階層に配置
したほか、デジタル技術を活用した「書かない窓口」や「おくやみコー
ナー」を導入するなど利便性の向上と業務の効率化を図り、60万市民
の目線に合った質の高い市民サービスの提供に努めて参ります。

その他にも、この第二本庁舎には、来庁者用の託児室をはじめ、郵便
局やカフェを設置しておりますので、市民の皆様には便利にご利用いた
だければと存じます。

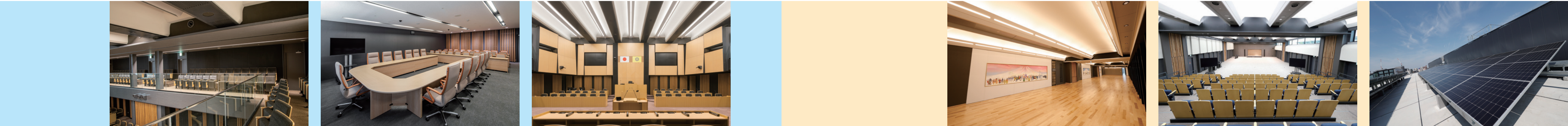
この新しい本庁舎の完成により、職員一同気持ちも新たに「さらなる
選ばれるまち川口」の実現に向け、一丸となって様々な行政サービスの
推進に取り組んでまいります。

第一本庁舎

第二本庁舎

新庁舎完成に至るまでのあゆみ

平成18年・平成21年 本庁舎の耐震診断実施
平成21年 5月 議会（公有財産活用・災害対策特別委員会）において方向性（耐震補強・建替え）の検討
平成23年 8月 議会（危機管理対策・庁舎整備等特別委員会）において庁舎の規模を検討
平成24年 2月 議会（危機管理対策・庁舎整備等特別委員会）において容積率の検討
平成24年11月～平成25年8月 庁舎建設審議会で新庁舎の建設場所を審議
平成25年12月 建設地について、前市長は「現本庁舎敷地並びに現市民会館及び同事務棟敷地」にて決断し、議会に議案として上程、賛成多数で可決される。
平成27年 2月 新庁舎建設基本構想策定
平成27年 8月 新庁舎建設基本計画策定
平成28年 7月 新庁舎1期棟・2期棟基本設計策定
平成29年 6月 旧川口市市民会館解体完了
平成29年12月 新庁舎1期棟建設工事契約および工事着手
令和 2年 3月 新庁舎1期棟建設工事完了
令和 2年 4月～ 5月 新庁舎1期棟（第一本庁舎）グランドオープン
令和 4年 3月 立体駐車場建設工事契約及び工事着手
令和 5年 2月 新庁舎2期棟建設工事契約及び工事着手
令和 5年 3月 立体駐車場建設工事完了
令和 6年10月 連絡通路設置工事着手
令和 7年 2月 新庁舎2期棟敷地内外構工事着手
令和 7年 6月 新庁舎2期棟建設工事、連絡通路設置工事完了
令和 7年 7月 新庁舎2期棟（第二本庁舎）落成式及び内覧会並びにカフェプレオープン



8階 議会傍聴席

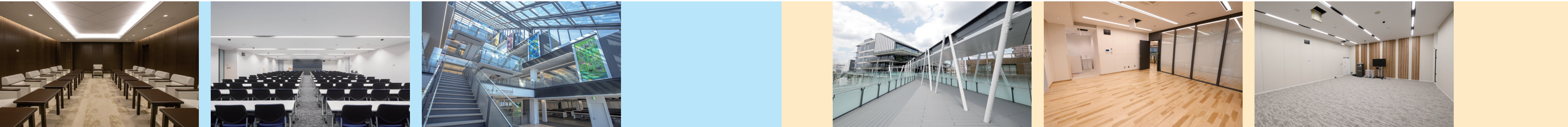
8階 委員会室

7階 議場

6階 大会議室前ロビー

6階 大会議室

屋上 太陽光パネル



6階 市長公室

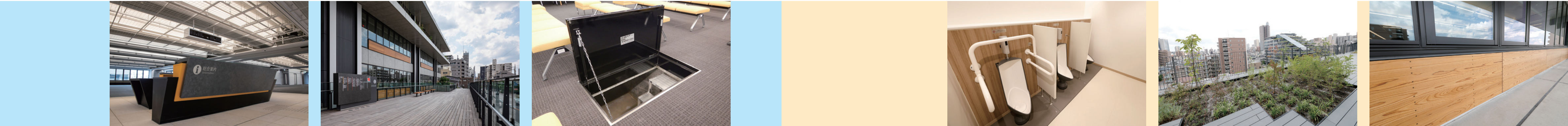
6階 大会議室（災害対策本部）

2～8階 シブick・キューポラ

2階 連絡通路

3階 託児室

6階 教育委員会室



2階 総合案内

2階 ペテストリアンデッキ

2階 防災の蔵（床下入口）

1階 鋳物製トイレ(市産品)

2階～屋上 安行四季彩マット(市産品)

2～5階 埼玉県産木材(県産品)

第一本庁舎 建築概要

所在地	川口市青木2-1-1
敷地面積	5,573.30㎡
延べ面積	20,035.13㎡
階数	地下1階、地上9階、塔屋1階
構造	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、柱頭免震構造
工期	平成29年12月から令和2年3月まで
設計・監理	㈱山下設計
施工	建築 埼玉建興㈱ 電気 九電工・三位電気特定建設工事共同企業体 空調 三菱・浅倉特定建設工事共同企業体 衛生 ヤマト・アルファ一企画特定建設工事共同企業体 植栽1 ㈱埼玉植樹園 植栽2 ㈱前易植樹園 植栽3 ㈱サクラギ（外構植栽） 土木 姉崎工業㈱

第二本庁舎 建築概要

所在地	川口市青木2-1-1
敷地面積	8,649.05㎡（立体駐車場含む）
延べ面積	23,822.72㎡（立体駐車場含む）
階数	1階、地上6階、塔屋1階
構造	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、柱頭免震構造
工期	令和5年2月から令和7年6月まで
設計・監理	㈱山下設計
施工	建築 埼玉建興・埼玉特定建設工事共同企業体 電気 三位・内山特定建設工事共同企業体 空調 三菱・浅倉特定建設工事共同企業体 衛生 ヤマト・アルファ一企画特定建設工事共同企業体 植栽1 ㈱枝堀園 植栽2 ㈱霧島園 植栽3 ㈱築道造園土木（外構植栽） 土木 翔美建設㈱



2階 窓口

1階 多目的スペース

1階 おもいやり駐車場

1～3階、6階 授乳室

2階 総合案内

2～5階 執務室

1階 カフェ

1階 郵便局